



東日本大震災から10年①

3月5日、JR総連執行部の皆さんと仙台地本で当時を振り返る為の現地踏査と、東日本大震災以降ボランティア活動でお世話になった東松島市社会福祉協議会との意見交換を行ってきました。

東松島社会福祉協会からは阿部事務長はじめ3名の方が参加いただき、当時の状況や仮設住宅での生活を余儀なくされた被災者の皆さんへのケアなど当時の苦勞したことや、ボランティア受け入れでの苦勞などお話をいただきました。当時ボランティア活動をしていた仙台支部斎藤書記長からは、「ボランティアを通じてヒューマニズムを体感し協力することの大切さを学ぶことができた。みなさんに感謝したい。今後も震災を忘れないために東松島市に定期的に足を運んでいきたい」と語られていました。

その後、仙石線の旧野蒜駅を踏査し翌日には意見交換を行いました。

組合員と一丸となって乗り越えてきた震災、改めて仲間の大切さや労働組合の必要性を再認識することができた現地踏査となりました。



東日本大震災から10年
仲間との絆で乗り越えてきた教訓を今後活かしていこう！